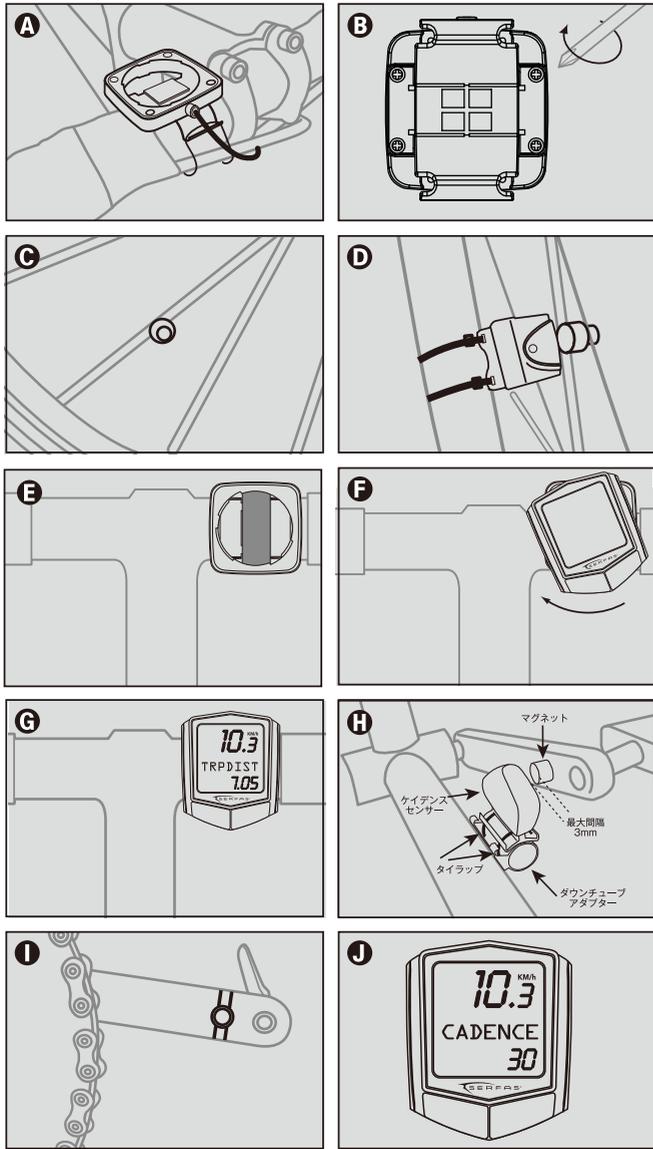


WIRELESS ワイヤレス Level Three and Four

OWNER'S MANUAL



取り付け手順



1. ブラケットのテープをはがし、ラバーストラップでハンドルバーに取り付けます。ワイヤが自転車の前方にできていることを確認してください(図 A 参照)。

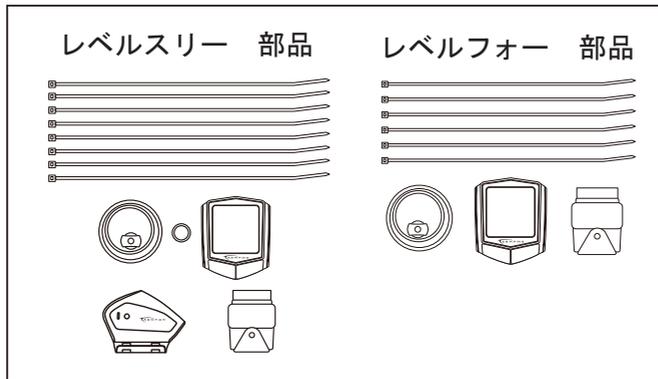
システム取り付け：システムに取り付ける場合はブラケットの後ろ側の4つのねじをはずし、ブラケットの上部を回して付け替えてから、ラバーストラップで取り付けます(図 B 参照)。

2. マグネットを前車輪のスポークに取り付けます(図 C 参照)。
3. 図のように横の小さな4つのねじがマグネットを向くようにスピードセンサーをフォークにタイラップで取り付けます。理想的な取り付け位置はマグネットの真ん中がセンサーの4mm以内の場所です(図 D 参照)。
4. ブラケットにコンピューター本体に取り付けます(図 E 参照)、コンピューター本体を11時の位置におき、カチッと音で12時の位置になるまで時計回りに回します(図 F 参照)。
5. 車輪を回して画面が動くかどうか確認してください。走行速度が表示されます(図 G 参照)。

サーファス S1-3 ダブルワイヤレスコンピューター ケイデンスセンサーは、自転車フレームのダウンチューブに装着して機能するように設計されています。取扱説明書にあるように自転車フレームのチェーンステアーにも装着することが可能ですが、サイクルコンピューターのヘッドユニットとケイデンスセンサーとの間の距離が7.6cm以上あるような時はケイデンスセンサーの電波信号が正常にヘッドユニットへ届かなくなります。また、チェーンステアー装着されたケイデンスセンサーはダウンチューブ装着時に比べて電波信号を強く出力する必要があり電池消費が早くなります。

ダウンチューブマウントアダプターの取付方法
付属のダウンチューブマウントアダプターを確認して下さい。

1. ケイデンスセンサーをアダプターにタイラップを使用して固定して下さい。
2. ケイデンスセンサーを取付したアダプターを自転車フレームにタイラップ、もしくはゴムバンドで固定して下さい。(図 H 参照)
3. ケイデンスマグネットをクランクアーム裏に取付して下さい。(図 I 参照)
4. ケイデンスセンサーとホイールマグネットの取付間隔が1~3mmの間隔になるように取付して下さい。
5. クランクアームを回しながらケイデンス画面をチェックし、コンピューター本体が正しく設定されていることを確認します(図 J 参照)。



車輪サイズ (WS) 図り方

km/h: WS = mm x 3,14
mph: WS = mm x 3,14

車輪サイズ (WS) 図り方

km/h: WS = mm
mph: WS = mm

ETRTO			ETRTO		
16 x 1.75 x 2	km/h mph		16 x 1.75 x 2	km/h mph	
47-305	16x1.75x2	1272	32-630	27x1.1/4	2199
47-406	20x1.75x2	1590	28-630	27x1.1/4 Fifty	2174
37-540	24x1.3/8A	1948	40-622	28x1.5	2224
47-507	24x1.75x2	1907	47-622	28x1.75	2268
23-571	26x1	1973	40-635	28x1.1/2	2265
40-559	26x1.5	2026	37-622	28x1.3/8x1.5/8	2205
44-559	26x1.6	2051	18-622	700x18C	2102
47-559	26x1.75x2	2070	20-622	700x20C	2114
50-559	26x1.9	2089	23-622	700x23C	2133
54-559	26x2.00	2114	25-622	700x25C	2146
57-559	26x2.125	2133	28-622	700x28C	2149
37-590	26x1.3/8	2105	32-622	700x32C	2174
37-584	26x1.3/8x1.1/2	2086	37-622	700x35C	2205
20-571	26x3/4	1954	40-622	700x40C	2224

設定手順 (初期設定もしくは電池交換後) — レベルスリー (S1-3)

1. 設定を始める前に電池蓋をはずし、電池を交換してください。
 2. 画面に「English」の文字が点滅されます。ボタン (B) を押して言語を選択し、ボタン (A) で設定してください。
 3. KM/h が点滅します。ボタン (B) を押して M/h (マイル/時) もしくは KM/h (km/時) を選択してください。
 4. SET-WS (車輪サイズ設定) 画面が表示されます。車輪サイズ表から該当のサイズを探してください。ボタン (B) を押すと数字が1桁点滅します。ボタン (A) で正しい数字にあわせ、ボタン (A) を押して確定してください。同じように他の桁をあわせ車輪サイズの設定をしてください。
 5. ODO (積算走行距離設定) 画面が表示されます。0からスタートする場合はボタン (A) を押して次の画面に移動してください。積算距離をあらかじめ設定する場合 (入力可能な積算距離—別枠A参照) はボタン (B) を押して、最初の桁が点滅させて数字を変更し、ボタン (A) で確定します。同じようにすべての数字を設定して下さい。
 6. MODE (モード) 画面が表示され、24が点滅します。ボタン (A) を押して24か12時間表示を選択し、ボタン (A) を押して設定します。
 7. HOUR (時) を表示し、時間の数字が点滅します。ボタン (B) を押して時間を選択し (備考: AM (午前) もしくは PM (午後) をここで選ぶ)、ボタン (A) を押して時間を設定します。
 8. MINUTE (分) を表示し、分の数字が点滅します。ボタン (B) を押して分を選択しボタン (A) で確定します。ボタン (B) を押し秒を選びボタン (A) で秒と時刻の設定を完了します。
 9. EL (バックライト機能—別枠A参照) が点いて消えます。ボタン (B) を押してオン/オフを選択し、ボタン (A) で確定してください。
- オンを選んだ場合—画面にSTART (開始時間) が表示され、時間が点滅します (備考: 時間単位でのみ設定可能です)。ボタン (B) を押して、開始時間を選び、ボタン (A) で確定します。画面にEND (終了時間) が表示され、時間が点滅します。ボタン (B) で終了時間を選択し、ボタン (A) で確定してください。

オフを選んだ場合—画面は時刻と走行速度が表示されます。設定は完了です。

初期設定後の調整—レベルスリー (S1-3)

時刻とバックライトの調整:
時刻が画面に表示されているときに、ボタン (A) を2秒間押し、初期設定と同様に時刻とバックライトの点灯時間設定をしてください。
言語/時速 (km もしくはマイル) / 車輪サイズ/積算走行距離の設定:
TOT-ODO (積算走行距離合計) 画面が表示されているときに、ボタン (A) を2秒間押し、初期設定と同様に設定します。
走行距離、走行時間、平均速度、最高速度のリセット:
いずれかの画面が表示されているときにボタン (A) を2秒間押ししてください。すべての機能が同時にリセットされます。

別枠 A レベルスリー (S1-3) の機能説明

走行距離/走行時間/平均速度/最高速度は現在走行中のものです。いずれかの画面でリセットをするとすべての記録が同時にリセットされます。

バックライト (EL) — バックライト機能は使用する時間を設定することができます。入力可能な積算走行距離 — リセット後、もしくは新しくしたときに km もしくはマイルでそれまでの積算走行距離をあらかじめ入力することができます。
走行ペース—走行ペースアイコンが走行速度の横に表示され、現在の走行速度が平均速度よりも速いか遅いかを教えてください。

<<ワイヤレス受信距離>>

コンピューターとケイデンスセンサー：最大77cm程度
コンピューターとスピードセンサー：最大60cm程度

コンピューター本体の設定—レベルフォー (S1-4) (初期設定または電池交換後)

1. 設定を始める前に電池蓋をはずし、電池を交換してください。
 2. 画面に「English」の文字が点滅します。ボタン (B) を押して言語を選択し、ボタン (A) で設定してください。
 3. KM/h が点滅します。ボタン (B) を押して M/h (マイル/時) もしくは KM/h (km/時) を選択してください。
 4. SET-WS (車輪サイズ設定) 画面が表示されます。車輪サイズ表から該当のサイズを探してください。ボタン (B) を押すと数字が1桁点滅します。ボタン (A) で正しい数字にあわせ、ボタン (A) を押して確定してください。同じように他の桁をあわせ車輪サイズの設定をしてください。
 5. ODO (積算走行距離設定) 画面が表示されます。0からスタートする場合はボタン (A) を押して次の画面に移動してください。積算距離をあらかじめ設定する場合 (入力可能な積算距離—別枠A参照) はボタン (B) を押して、最初の桁が点滅させて数字を変更し、ボタン (A) で確定します。同じようにすべての数字を設定してください。
 6. 自転車1のサービスタイマー (点検保守) 画面が表示されます。ボタン (B) を押すと最初の桁が点滅します。ボタン (A) で確定し、同じようにすべての数字を設定してください。
 7. 自転車2のODO (積算走行距離設定) 画面が表示されます。0からスタートする場合はボタン (A) を押して次の画面に移動してください。積算距離をあらかじめ設定する場合 (入力可能な積算走行距離—別枠A参照) はボタン (B) を押すと最初の桁が点滅します。ボタン (A) で確定し、同じようにすべての数字を設定してください。
 8. 自転車2のサービスタイマー (点検保守) 画面が表示されます。ボタン (B) を押すと最初の桁が点滅します。ボタン (A) で確定し、同じようにすべての数字を設定してください。
 9. MODE (モード) 画面が表示され、24が点滅します。ボタン (B) を押して24か12時間表示を選択し、ボタン (A) を押して設定します。
 10. HOUR (時) を表示し、時間の数字が点滅します。ボタン (B) を押して時間を選択し (備考: AM (午前) もしくは PM (午後) をここで選ぶ)、ボタン (A) を押して時間を設定します。
 11. MINUTE (分) を表示し、分の数字が点滅します。ボタン (A) を押して分を選択しボタン (A) で確定します。ボタン (B) を押し秒を選びボタン (A) で秒と時刻の設定を完了します。
 12. EL (バックライト機能—別枠A参照) が点いて消えます。ボタン (B) を押してオン/オフを選択し、ボタン (A) で確定してください。
- オンを選んだ場合—画面にSTART (開始時間) が表示され、時間が点滅します (備考: 時間単位でのみ設定可能です)。ボタン (B) を押して、開始時間を選び、ボタン (A) で確定します。画面にEND (終了時間) が表示され、時間が点滅します。ボタン (B) で終了時間を選択し、ボタン (A) で確定してください。
- オフを選んだ場合—画面は時刻と走行速度が表示されます。設定は完了です。

初期設定後の調整—レベルフォー (S1-4)

時刻とバックライトの調整:
時刻が画面に表示されているときに、ボタン (A) を2秒間押し、初期設定と同様に時刻とバックライトの時間設定をしてください。
言語/時速 (km もしくはマイル) / 車輪サイズ/積算走行距離の設定:
TOT-ODO画面が表示されているときに、ボタン (A) を2秒間押し、初期設定と同様に設定します。
走行距離、走行時間、平均速度、最高速度のリセット:
いずれかの画面が表示されているときにボタン (A) を2秒間押ししてください。すべての機能が同時にリセットされます。
自転車1と2の切り替え:
いずれかの画面にいるときにボタン (A) を5秒間押し、コンピューターは自転車2に切り替わります。自転車1と同様に調整してください。
温度計の設定:
TEMP (温度) が表示されているときにボタン (B) を2秒間押ししてください。自動的に摂氏 (C) と華氏が切り替わります。
トリップアップとトリップダウンの設定:
トリップが表示されているときに、ボタン (B) を2秒間押し、トリップアップかトリップダウンかを選択し、ボタン (A) で設定してください。
次にボタン (B) を押すと最初の桁が点滅します。ボタン (B) を押して最初の桁を選択し、ボタン (A) で確定してください。同じようにすべての桁を設定してください。
ストップウォッチの調整:
STPWATCH (ストップウォッチ) が画面に表示されているときにボタン (A) を2秒間押し、リセットされます。ボタン (A) を押しとスタート/ストップします。
合計走行時間の調整:
TOTIME (合計走行時間) が表示されているときにボタン (A) を2秒間押ししてください。最初の桁が点滅します。ボタン (B) を押して数字を選択し、ボタン (A) で設定してください。同じようにすべての桁を設定します。
サービスタイマー (保守点検) の調整:
TOT ODO1 (合計走行時間1) が表示されているときにボタン (A) を2秒間押ししてください。ボタン (A) を押して積算走行距離設定を飛ばし、自転車のサービスタイマー (保守点検) を表示します。最初の桁が点滅したら、ボタン (B) で数字をあわせボタン (A) で確定します。同様にすべての桁を設定します。

別枠 A レベルフォー (S1-4) の機能説明

走行距離/走行時間/平均速度/最高速度は現在走行中のものです。いずれかの画面でリセットをするとすべての記録が同時にリセットされます。

バックライト (EL) — バックライト機能は使用する時間を設定することができます。入力可能な積算走行距離—リセット後、もしくは新しくしたときに km もしくはマイルでそれまでの積算走行距離をあらかじめ入力することができます。
サービスタイマー (点検保守) — 点検保守の時間になるとレンチアイコンを表示してお知らせします。
ストップウォッチ — インターバルをストップウォッチで計測できます。トリップアップ/トリップダウン — 目標距離を設定するとそこまで数えるかそこからマイナスするかに選べます。
デュアルバイクメモリー (自転車1+2) — ほとんどの機能を2台の自転車用に別々に設定できます。2台の自転車 (MTBとロードバイク) を同じコンピューターで管理するのに非常に便利です。
入力可能な積算走行距離 — リセット後、もしくは新しくしたときに km もしくはマイルでそれまでの積算走行距離をあらかじめ入力することができます。
走行ペース — 走行ペースアイコンが走行速度の横に表示され、現在の走行速度が平均速度よりも速いか遅いかを教えてください。
ワンタッチスキャン — あるモードで画面を放置しておく、コンピューターが自動的に4つのキーアクション (平均速度、最高速度、走行距離、走行時間) を順番に表示していきます。

カスタマーサービスセンター
ライトウェイプロダクツジャパン株式会社
東京都豊島区南池袋3-18-34 池袋ソイノヴィ102
Phone: 03-5950-6002 FAX: 03-5956-8028
http://www.riteway-jp.com